



虐待関与職員は業務分離を
道は、7月に西興部村と合同
監査を実施、村は10月に虐待を

真下議員は、12月14日の保健福祉委員会、ケアにあたる業務の継続を問題視して、配置転換や専門人材の派遣、専門的なアドバイスや現場でのケアスキル習得を提案しました。
道は「施設が虐待に関与した職員を業務から外すことを検討、人手不足とならないよう知的障害者福祉協会の協力で経験豊

京谷栄一保健福祉部長は「倫理観の欠如など職員の個人的な要因のほか、さまざまな背景で職員がストレスを増加させたり、感情をコントロールできなかったりして虐待に至るケースもある」「来月中に緊急実態調査をしたい。道が主体となつて、実効性のある対応策を検討する」と答弁しました。

障害者施設の虐待防止 本音で調査を

人手不足や賃金など構造的課題の改善を

北海道と西興部村に通報があり「にしおこっぺ福祉会」が運営する障害者施設「清流の里」で、5月から6月にかけて職員6人が入所者13人に身体的・心理的虐待、必要な支援放棄など38件の虐待が確認され、調査と改善を求めました。

認定。オホーツク総合振興局が聞き取りをして、再発防止を図っていますが、加害職員は継続して勤務していました。

富な代替職員の派遣調整をすすめている」と答えました。

本音の調査で改善の仕組みを

真下議員は、日常的な虐待の有無や管理者の虐待への認識、職員間でなぜ虐待を抑制できなかったのかなど本音も聞き取り、日常的な人手不足、低い評価と賃金水準の構造的課題の改善、スキルアップにつながる専門研修や抑止できる仕組みの検討を求めました。

「信号機ついたよ ありがとう」



カードを手に渡り初め

「信号機、ついたよ」と喜びの電話がかかってきました。動物園通りの東旭川北1条と南1条2を渡る交差点は、小学校の通学路に指定されています。でも「交通量が多く、横断歩道を渡るのは大変危険な状況」だと近所に住むご夫婦からの連絡があったのは2018年。小学5年生の娘を交通事故で亡くした体験があり、「いても立っても居られない。なんとかしてほしい」と新日本婦人の会北海道本部に連絡したそう

受験生に手を出すな

痴漢対策強化を！道警察に要望

共通入試を前に遅刻できない受験生を狙って、痴漢をあおるネット投稿が増加しています。

日本共産党道議団は12日、受験期の痴漢加害の防止強化を道警察に求めました。



痴漢・盗撮撲滅のために対策強化を道議会で質問した真下議員は、痴漢防止を呼び掛ける缶バッジをつけ、「受験生にとって一生の問題。卑劣な痴漢を見逃さないために対策強化を」と求めました。

対応した道警生活安全部の小島博之指導官は、「議会議論等を勘案し、対策を強化する。アプリの普及や、これまでの発生場所等の傾向を分析して、警戒を強化していく」と答えました。

痴漢・盗撮は、卑劣な性犯罪です。通報や助けを求めるなど周囲の協力も必要です。

す。すぐに新婦人旭川支部から地域のかたくり班のところ連絡がありました。以前に信号機設置に尽力した能登谷繁市議と一緒に、町内会や近隣住民に話を聞くと「歩行者が手を挙げて待機してもほとんどの車両がスピードを緩めず通過していく」と訴えられました。

要望。道警察は「押しボタン式信号機の設置を検討する」と回答し、道路管理者と調整を経た22年12月に歩行者信号機が設置されました。
20日、信号機渡り初めには「信号機、ありがとうございませ」の自作カードをもって参加したご夫婦。「家の窓から信号を押し渡る子どもたちが見えて安心です」と。

真下議員に相談があり、2019年予算要望で道警察に直接

障害者施設 人権侵害調査を

不妊処置問題 第三者委員会設置で

江差町の社会福祉法人「あすなる福祉会」が運営するグループホームに同居する知的障害者が結婚や同棲を希望する場合には、施設側が20年以上前から不妊処置を提案し、8組16名が応じていたことがわかりました。共産党議員団は、12月27日、鈴木直道知事に、障害者施設での人権侵害の実態調査の実施と妊娠・子育てなどへの支援を求めて緊急要請しました。

12月19日から任意調査を進めていた道は、26日、障害者総合支援法に基づく監査に切り替え、虐待に関する調査と合わせた全道調査を開始しました。

施設側は同意があるので「強制ではない」と説明しています。しかし、日本障害者協議会は「暮らしや

働く場を提供することと引き換えに子どもを持つことの権利が奪われた」と声明を発表しています。

真下議員は11日の保健福祉委員会で「子どもはサービスの対象外と施設から言われれば、子どもを産み育てることを諦めざるを得ない状況に追い込まれかねない」と指摘。

特に北海道は、旧優性保護法の下で行政が率先して障害者等に対する強制的な不妊・中絶手術を推進しました。しかし、高橋はるみ前知事はこの検証を拒否しました。全国で突出して優生手術が多い背景や、優生思想が払しょくされているのかは解明されていません。今こそ客観的視点に立った第三者委員会での検証と調査が必要です。

地方に住み続けるため 鉄路の維持を

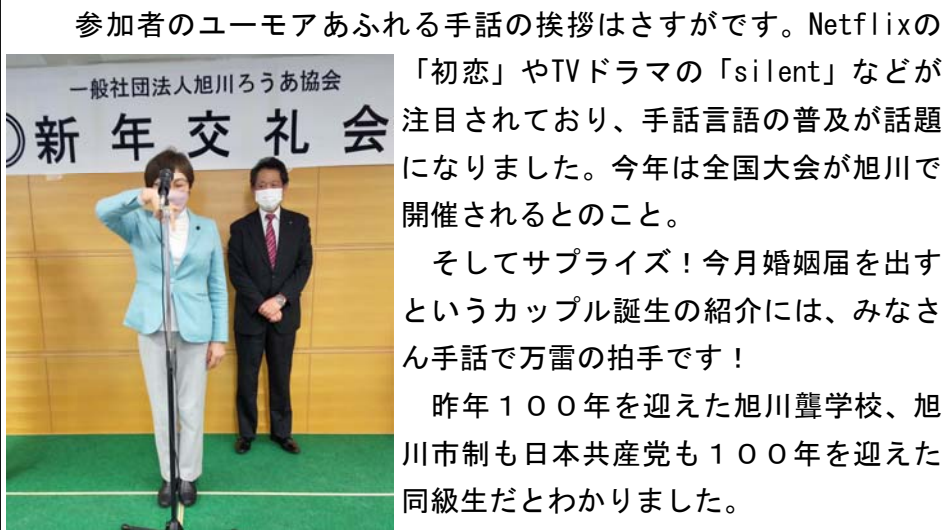
2023年は、新型コロナの感染拡大、物価の高騰、ロシアによるウクライナ侵略など、立ち足る困難を乗り越えていく年にしていきます。命と暮らしを守り、多様性を認め合う平和な社会となるように力を尽くしていきます。



仕事はじめは150回・151回目となる質問です。12日の地方路線問題特別委員会で、地方に住み続けるために鉄路の維持が大きな役割を果たしていると主張。国も道も黄色線区は廃線前提ではないと言う一方、斉藤鉄夫国交大臣が「残るのは半分くらいか」と発言。全国知事会が求めているように国鉄分割民営化を検証し、貨物も含めた地方路線を維持できる新たな仕組みづくりを求めました。

手話言語の普及を 旭川ろうあ協会

一般社団法人旭川ろうあ協会の新年交礼会に参加しました。恒例となっている手話での自己紹介は真剣です。指先を見つめ真下の「下」。雪道で転ばないように下をよく見て歩きます。



参加者のユーモアあふれる手話の挨拶はさすがです。Netflixの「初恋」やTVドラマの「silent」などが注目されており、手話言語の普及が話題になりました。今年は全国大会が旭川で開催されるとのこと。そしてサプライズ！今月婚姻届を出すというカップル誕生の紹介には、みなさん手話で万雷の拍手です！昨年100年を迎えた旭川聾学校、旭川市制も日本共産党も100年を迎えた同級生だとわかりました。



12月27日、知事あてに要望する党道議団

る」と答える」と答えました。

真下議員は、単に「強制」や「提案」の有無だけでなく、北海道特有の歴史と、障害者権利条約や障害者総合支援法、道の条例に基づき、不妊措置以外に選択肢がないと思わせる形での情報提供などが差別や人権侵害にあたらぬのか、当事者の自己決定が公平に行っていたのか等を障害特性に応じて調査し、障害者の妊娠・子育てへの支援体制構築を求めました。

道保健福祉部は「監査結果を踏まえ、利用者が希望する障害福祉サービスを正当な理由なく制限などが確認された場合、法に基づき厳正な措置を検討する」と答弁。京谷保健福祉部長は、「国と情報共有しながら、対応を検討していく必要がある」と答